

表覽一士議代選當次三第選普

果結の票開で三十六百七千八万三十六百九數總票投り通の報既は選普次三第たれさ行舉に齊一國全日十二月去
名六六四計合 二新革△ 二衆大△ 三立中△ 三民社△ 五派達安△ 七四一黨政民△ 四〇三會友政△
し如の記下は名氏者選當 たし博を勝快の有曾未は黨與し選當

東京 第一區(定員五) 立川太郎(政新)、高橋義次(民新)、三木武吉(民前)、本田義成(政新)、大神田軍治(民新) 第二區(定員五) 犬養健(政前)、駒井重次(民新)、鳩山一郎(政前)、安部磯雄(社元)、中島彌太郎(民前) 第三區(定員五) 安藤正純(政前)、伊藤仁太郎(政新)、櫻木桂吉(民前)、柳田宗一郎(民新) 第四區(定員五) 磯部清(政元)、福枝捨次郎(同)、朴孝季(中野)、中野勇次郎(政新) 第五區(定員五) 三上英雄(政新)、牧野駿男(政前)、鈴木富士雄(民前)、新波貞吉(同)、高木正年(同) 第六區(定員五) 中村維男(民前)、中島守利(政前)、佐藤正(民前)、松谷與二郎(大前)、前田米藏(政前) 第七區(定員五) 津雲彌利(政前)、坂本一角(同)、八並武治(民前)		京都 第一區(定員五) 中村三之丞(民新)、川橋重次郎(同)、關田開次郎(同)、鈴木吉之助(政前)、野村米太郎(同) 第二區(定員五) 中野謙一郎(政新)、磯部清吉(同)、田中祐四郎(民前) 第三區(定員五) 水島彦一郎(政前)、長田桃藏(政元)、瀧田均(政新)		大阪 第一區(定員五) 板野友造(政元)、一松定吉(民前)、掛谷寅吉(同) 第二區(定員五) 山本芳治(政元)、竹田儀一(民前)、沼田嘉一郎(政元) 第三區(定員五) 上田孝吉(政前)、内藤正明(民新)、青田勝晴(政新)、廣瀬徳藏(民前) 第四區(定員五) 森田政義(政前)、中山彌太郎(民新)、本田彌市郎(民前)、吉川吉郎(兵衛、同) 第五區(定員五) 喜多孝治(政前)、勝田永吉(民新)		神奈川 第一區(定員五) 前、杉山元治郎(大新)、岩崎幸治郎(政元) 第二區(定員五) 山口義一(政前)、井坂豊光(政元)、松田竹千代(民元) 第三區(定員五) 川口義久(政前)、鈴木喜三郎(政新)、小泉又次郎(民前)、岩切重雄(民元) 第四區(定員五) 胎中祐右衛門(政前)、鈴木秀雄(同)、河野一郎(政新)、平川松太郎(民前)		兵庫 第一區(定員五) 砂田重政(政前)、野田文一郎(民前)、中野謙男(同)、野村太郎(同) 第二區(定員五) 陸山定吉(政元)、立川平(同)、前田房之助(民前)、原純一郎(同) 第三區(定員五) 小林精治(政前)、多木次郎(同)、青木三郎(政元) 第四區(定員五) 原惣兵衛(政前)、田中武雄(民前)、清瀬一郎(華前)、土井權太(政前)		群馬 第一區(定員五) 中島知久平(政前)、青木精一(同)、飯塚幸太郎(民前)、清水留三郎(民元)、増田金作(政新) 第二區(定員五) 藤原義政(政新)、木暮武太夫(政前)、畑桃作(政新)、木橋三郎(民前) 第三區(定員五) 加藤五郎(政前)、田中善立(政元)、瀧川嘉助(政前)、小山松壽(民前)、横山一格(民元)		埼玉 第一區(定員五) 加藤五郎(政前)、伊坂秀五郎(政元)、川崎克民(同)、堀川英也(政元)、松田正一(民前) 第二區(定員五) 後藤修(政前)、尾崎行雄(中野)、後藤修(政前)、池田啓八(民前) 第三區(定員五) 加藤五郎(政前)、伊坂秀五郎(政元)、川崎克民(同)、堀川英也(政元)、松田正一(民前)		千葉 第一區(定員五) 鈴木隆政(政前)、本多貞次郎(政元)、川島正治郎(政前)、多田元(民前)、山崎秀夫(政新)、今井健彦(政前)、鳩山秀夫(政新)、鶴澤宇八(民前) 第二區(定員五) 土屋清三郎(民前)、竹澤太一(政元)、小高長三郎(政新)、森嘉三郎(政前) 第三區(定員五) 内田信也(政前)、宮古啓三郎(政元)、豊田豊吉(民新)、石橋茂(民前) 第四區(定員五) 石井三郎(政元)、山崎義政(政前)、中井川浩民(民新)、佐藤洋之助(政前)、風見章(安藤)、佐藤洋之助(政前)、風見章(安藤)		茨城 第一區(定員五) 山口忠五郎(政元)、宮本雄三郎(政新)、深澤豊太郎(政前)、梅野政義(民前)、平野光雄(民前) 第二區(定員五) 仁田大八郎(政新)、藤名成明(同)、藤保春一(同)、岸野(同)、小島智善(政新)、鈴木寅彦(民前)、中野寅吉(政元) 第三區(定員五) 佐藤庄太郎(政新)、比佐昌平(民前)、鈴木龍三郎(一)		栃木 第一區(定員五) 船田中政(政前)、森格同、坪全(一)		山梨 第一區(定員五) 全縣一區(政前)、川平南雄(政新)、大崎清作(政前)、竹内友太郎(同)、關田虎雄(民新)		奈良 第一區(定員五) 加藤五郎(政前)、伊坂秀五郎(政元)、川崎克民(同)、堀川英也(政元)、松田正一(民前) 第二區(定員五) 後藤修(政前)、尾崎行雄(中野)、後藤修(政前)、池田啓八(民前) 第三區(定員五) 加藤五郎(政前)、伊坂秀五郎(政元)、川崎克民(同)、堀川英也(政元)、松田正一(民前)		三重 第一區(定員五) 加藤五郎(政前)、伊坂秀五郎(政元)、川崎克民(同)、堀川英也(政元)、松田正一(民前) 第二區(定員五) 後藤修(政前)、尾崎行雄(中野)、後藤修(政前)、池田啓八(民前) 第三區(定員五) 加藤五郎(政前)、伊坂秀五郎(政元)、川崎克民(同)、堀川英也(政元)、松田正一(民前)		滋賀 第一區(定員五) 清水義雄(政前)、服部吉政(政新)、堤康次郎(民前)、仙波久吉(一)、青木亮(民前) 第二區(定員五) 大野伴健(政前)、西田健吉(政元)、清水義雄(政前)、服部吉政(政新)、堤康次郎(民前)、仙波久吉(一)、青木亮(民前)		岐阜 第一區(定員五) 高橋義次郎(政前)、四方利馬(政元)、戸田藤太郎(一)、佐藤啓(政新) 第二區(定員五) 熊谷直太郎(政前)、松岡健三(政元)、清水藤太郎(民前)、佐藤啓(政新)		山形 第一區(定員五) 高橋義次郎(政前)、四方利馬(政元)、戸田藤太郎(一)、佐藤啓(政新) 第二區(定員五) 熊谷直太郎(政前)、松岡健三(政元)、清水藤太郎(民前)、佐藤啓(政新)		秋田 第一區(定員五) 杉本邦太郎(政新)、鈴木安孝(政前)、田中隆三(民前)、町田忠治(同) 第二區(定員五) 片野修造(政前)、小山田吉隆(政元)、猪俣政太郎(民前)		青森 第一區(定員五) 藤井建也(政前)、梅村大(政新)、工藤健男(民前) 第二區(定員五) 工藤十三男(政前)、飯田秀雄(同)、堀池良一(民前)		福井 第一區(定員五) 山本藤太郎(政前)、猪野毛利(政元)、熊谷五衛門(民新)、添田教一郎(同)、齊藤尚吉(民新) 第二區(定員五) 久原房之助(政前)、庄吉太郎(同)、保良之助(同)、藤井啓(民新)		石川 第一區(定員五) 中橋徳五郎(政前)、永井柳太(政元)、橋本太吉(政元) 第二區(定員五) 青山憲三(政元)、益谷秀次(同)、櫻井兵五郎(民前)		富山 第一區(定員五) 石坂豊(政新)、高見之通(政前)、野村嘉六民(民前) 第二區(定員五) 島田七郎(政新)、土倉宗明(政前)、松村謙三(民前)		徳島 第一區(定員五) 紅雲昭政(政前)、生田和平(同)、谷原公民(同) 第二區(定員五) 秋田清政(政前)、眞鍋政元、伊藤智次郎(一)		香川 第一區(定員五) 宮脇長吉(政前)、上原兵太郎(同)、戸澤民十郎(民前) 第二區(定員五) 山下谷次郎(政前)、三土忠雄(同)、矢野庄太郎(民前)		愛媛 第一區(定員五) 大本貞太郎(政新)、武知勇記(民前)、須ノ内品吉(政元)、之同、小山久廣(同) 第二區(定員五) 森正三郎(政新)、河上哲太(同)、村上敏太郎(民前)、白神邦二(政前)、二部同前、小川(政新)、星島二郎(同)、小川海太郎(民前)、小谷勇男(政同)		高知 第一區(定員五) 富田孝次郎(政前)、中谷貞頼(同)、田村實(同) 第二區(定員五) 林義治政前、川淵治民新、佐光吉明(一)		福岡 第一區(定員五) 宮川一(政前)、原口和太郎(同)、中野正剛(安藤)、吉田明政(同) 第二區(定員五) 野田俊作(政前)、具谷義政(同)、山崎健之輔(同)、高倉寛(政新)、樋口典常(政前)		山口 第一區(定員五) 久原房之助(政前)、庄吉太郎(同)、保良之助(同)、藤井啓(民新)		和歌山 第一區(定員五) 松山常次郎(政前)、玉置吉之丞(同)、木本主一郎(同) 第二區(定員五) 小山谷藏民(民前)、三尾邦三(政前)、世耕弘一(同)		大分 第一區(定員五) 金光康夫(政前)、野坂秀市(同)、窪月學(同)、松田誠治(政新) 第二區(定員五) 清瀬規矩雄(政前)、綾部健太郎(同)、重松重治(民前)		佐賀 第一區(定員五) 田中亮(政前)、石川又八民		熊本 第一區(定員五) 松野鶴平(政前)、村田虎之助(同)、木村正義(政元)、安藤謙安(同)、大塚唯男(民前)		鹿兒嶋 第一區(定員五) 原新(政元)、床次竹次郎(政前)、岡田三郎(同)、井上知治(同)、中村嘉壽(同) 第二區(定員五) 東郷實(政前)、崎山武夫(同)、天辰正守(政新)、寺田市正(同)		沖繩 第一區(定員五) 金城紀元(政新)、花城水波(政元)、崎山朝嗣(同)、伊藤肇(民前)、竹下文隆(政元)		北海道 第一區(定員五) 橋原榮太郎(一)、山本厚三(民前)、久山浪彌(政元)、柳仲次郎(民前) 第二區(定員五) 東武政前、林路一(同)、田中喜代松(政新)、坂東幸太郎(民前) 第三區(定員五) 板谷順助(政前)、手代木隆吉(民前)、松實善代太(政新)、山本定一(一)、松尾孝之(中野) 第五區(定員五) 三井實政前、尾崎天風(政新)、木下成太郎(政前)、小池仁郎(民前)	
---	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	---	--	---	--	---	--	--	--	--	--	---	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	---	--	---	--	---	--	--	--	--	--	--	--	--	--	---	--	--	--	--	--	--	--	--	--	---	--	--	--

成立する迄の経路

今後の方針

言論界の批判

該問題に關し邦字新聞は種子の取り扱ひに於て正論ヲ説き若く見解ヲ異にして居るのを發見した、其地方新聞の如きは全篇革新會の機關新聞の觀を呈し、其の論旨は常道を説し、其の着眼極めて偏見に傾き反對理由を拮出すに捏造並を据へてその中に於て製造し掲げる記事は常に心ある人々に不快を與へ世人を迷はしめ權力反産業組合に陣太鼓を叩いて應援せしめ、結局その勢に頼らねばならず、却つてその助太刀味方方を切りたる事と成りしは同情に値するものである。

次に其紙は當組合に對し組合側に組合牌幹部に幹部は組合主義を知らずとして幹部に其の罪を負はせしめ、問題を一生迷宮に引き入れんとせしは反産業組合派の代辯に過ぎずして、組合内容の認識不足と云はねばならぬ。